



### 湿原散歩

冬の観光シーズンを迎え、今年もSL冬の湿原号が運行した。2000年から運行され、たくさんの観光客が車窓から眺める冬の釧路湿原の景観やタンチョウやエゾシカなどを見ながら旅を満喫しているようだ。写真は当時（1975年2月）旧国鉄標茶駅構内にあった転車台で、機関車の向きを変えていた。現在は撤去されてしまったが、現存していたらゆっくりと向きを変える機関車の姿に観光客も感動していたかも知れない。この転車台は当時電動で回転し、乗っている機関車はC11224で、現在旧国鉄標津線の根室標津駅跡に転車台とともに保存されている。



## 塘路フィールドノート【1/15～2/14】

### 【野鳥】

塘路湖畔では、ゴジュウカラやハシブトガラなどのさえずりが聞こえてくるようになりました。一方で、今年は冬鳥の姿をあまり見かけません。年によって変動がある冬鳥の飛来数、今年はハズレ年なのかもしれません。



オオワシ (阿歴内川河畔)

夕暮れを背に佇む成鳥。この時期は川沿いの木に止まっているのをよく見かけます



オジロワシ (塘路湖畔)

湖畔のカラマツに止まっていた幼鳥。獲物を探してキョロキョロしていました



オオハクチョウとタンチョウ (コッタロ湿原)

寒さ厳しい朝、展望台に登ると眼下には仲良くお休み中のハクチョウとタンチョウが



アカゲラ (塘路湖畔)

湖畔の木でドラミング中。この日は暖かかったこともあり、活発に動いていました



ゴジュウカラ (塘路湖畔)

湖畔の木の上で元気よく鳴いていたゴジュウカラ。今年のさえずり初確認でした



ハシブトガラ (塘路湖畔)

ゴジュウカラとともにさえずり始めたハシブトガラ。目立つ所にもよく出てきます

## 【動物】

2月に入ってようやくまとまった雪が降り、動物たちの足跡が確認出来るようになりました。寒さ厳しい今日この頃ですが、動物たちは元気に雪の上を動き回っているようです。春が来るまであ少しの辛抱です。



キタキツネ (塘路湖)

センターから御神渡りの方向を見ると、渡っていたのは、神様…ではなく、キツネでした



エゾシカの親子 (コッタロ湿原)

道端のメスジカを見ていたら、木陰から子ジカが登場。母親に甘えていました



エゾユキウサギの足跡 (フィトンチッドの森)

2月に入るまで雪がほとんどなかったため、ようやく今冬初めて足跡を確認できました

## ◎塘路湖で見つけた不思議な氷の造形

氷の厚さが平年並みの35cmに達した現在の塘路湖。朝晩は連日厳しい冷え込みとなり、湖畔は肌を刺すような冷たい空気に覆われています。しかし、厳しい自然環境とは裏腹に、厳冬期は御神渡りをはじめ、氷が織りなす神秘的な光景に出会える魅力的な季節です。湖上では不思議な形の氷のオブジェが立ち並び、さらに一段と寒い朝には、湖岸沿いでフロストフラワーや樹氷を見ることもでき、様々な気象条件や形成過程によって形を変えた氷の姿を楽しめます。真冬の塘路湖は、まるで自然の美術館のようです。



## □ 寒さを忘れてワカサギ釣りに挑戦

1月26日、釧路市こどもレンジャーのイベントが塘路湖で開催されました。はじめに塘路湖エコミュージアムセンターで偏光フィルターを使い氷の結晶などを観察したあと、湖へ向かいワカサギ釣りを始めました。厚さが約30cmほどの氷に穴を開けて釣り糸を垂らして当りを待つこと数秒～数分、銀色に輝くワカサギが釣れ、辺りから子供たちの歓声が聞こえてきました。大漁の子もいれば、それなりの子もいましたが、冬の塘路湖で子供たちは一時寒さを忘れて楽しんでいました。



## □ 厳冬の湿原散策



10日、自然ふれあい行事「釧路湿原フィールドウォッチング」を茅沼蝶の森周辺で開催しました。近くにあるシラルトロ湖からスノーシューで散策をしながら、湧水や(写真)、冬越しの植物の様子などを観察しました。新雪にはエゾシカの足跡がありましたが、今回はタンチョウの足跡が多くあり、翼の跡もはっきり残されていました。

蝶の森では炭窯跡や縄文時代の竪穴住居跡などを観察しながら、当時の先人たちの生活と釧路湿原の関わりについて解説しました。しばらくすると行事の終わりを告げるように？SL冬の湿原号の汽笛が聞こえ、帰る途中で参加者の皆さんとともにその雄姿を見送って行事を終えました。

## 3月の自然ふれあい行事

事前の申込が必要です。

### ◎塘路フィールドウォッチング

[日 時] 3月3日(土) 10時～12時

[定 員・参加料] 10名 無料

[開催場所] 塘路湖エコミュージアムセンター

◎申込・問い合わせは塘路湖エコミュージアムセンターまで

### ◎湿原の裏山でスノーシューハイク

[日 時] 3月4日(日) 10時～12時

[定 員・参加料] 10名 無料

[開催場所] 温根内ビジターセンター

◎申込・問い合わせは温根内ビジターセンター(0154-65-2323)まで

◆日出・日入時間 1/15(6:51,16:13). 1/31(6:39,16:33). 2/14(6:22,16:52)

～編集後記～

■塘路湖では週末を中心に冬の風物詩、ワカサギ釣りを楽しむ人のテントが目立ちます。今年は雪が少ないと言っていた矢先、まとまった雪が何回か降り、一気にいつもの冬景色となってしまいました。そんな湖畔歩道にはキタキツネやエゾシカ、ヤチネズミなどの足跡が残されています。動物たちの痕跡を探しながら歩くのも楽しいかもしれません。

センターではスノーシューを貸し出していますので(数に限りがあり)、散策のお供に如何でしょうか？

### 釧路湿原国立公園

#### 塘路湖エコミュージアムセンター あること

☎ 088-2264 北海道川上郡標茶町塘路原野

TEL: 015-487-3003 FAX: 015-487-3004

E-mail: emc@hokkai.or.jp

開館時間: 10:00～16:00

(4～10月: 17:00まで)

休館日: 毎週水曜日 12月29日～1月3日

入館無料